



日本ベンジャミン人間性英才学校  
Japan Benjamin School for Character Education

# ベンジャミン

通信

2017/4/6発行

第21号

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

1期生卒業式 及び  
2期生入学式 vol.2

## 目まぐるしい成長を遂げた日本ベンジャミン人間性英才学校1期生が卒業！ 生徒が成長ストーリーを発表

4月2日、三重県志摩市の地球市民研修センターにて行われたベンジャミン学校1期生卒業式と2期生入学式。感動で会場がひとつになった卒業生代表による成長ストーリーと感謝のメッセージ、保護者代表による挨拶をご紹介します。



福岡県  
木庭 大晴君

成長  
ストーリー

僕はこの1年間で、体はHSP12段(逆立ち歩き)ができるほど筋力がつき、心はポジティブに明るく成長しました。入学前はガリガリで何もやる気がなく、何かトゲトゲした言葉を言われたり、失敗するとすぐにダメだと思って自分のカラに閉じこもってしまっていた。しかし、ベンジャミン

学校に入学して本当に変わって、毎日コツコツHSP12段を練習するようになってだんだん筋力がついたり、自分で計画したプロジェクトを毎日やって達成できるようになって、本当に自信ができました。



国際プロジェクトでは言葉の壁を超えて通じ合うことができ、喜びや感動が、ベンジャミン学校の1年間で宝物になりました。入学したときからは考えられないくらい体もメンタル面も成長して、周りをよく見ることができるようになりました。ベンジャミン学校に通わせてくれたお父さんとお母さん、ここまで成長させてくれたメンターの先生、校長先生、先生方、本当にありがとうございます。僕はこの経験を活かして自分の夢に向かって頑張っていきたいと思えます。

保護者  
あいさつ



兵庫県  
高木 桂子さん

いた時、現地で初めて凄まじい現状を目の当たりにしたこと、そしてまだまだ支援が必要なのにテレビでも今の状態を流してはダメと涙を堪えて話をしていました。現地の方々が喜んでくださり、少しでも自分が役に立てた喜びを感じていたのでと思います。世の中を良くすることに貢献したい、そんな気持ちで伝わってきました。

そして、地域で行われた卒業ワークショップで「僕は面白くなくて中学3年間ほとんど行かなかった。この下があったモチベーションがたった1年でこんなに取り戻せて、明るくなれた自分が嬉しくて」と喜びと感謝の気持ちを声を詰まらせながら皆さんの前で堂々と話しました。彼の心から出る言葉にベンジャミン学校に出会えたことに感謝する思いです。

中学はほとんど行くことができず、運動も何もしていません。息子(玲生君)が20日間約400キロを歩くという徒歩プロジェクトに参加。体のことを一番に心配した私の手の届かないところで、彼は動き始めました。言葉の壁、知らない土地、様々な環境の中で仲間と深い絆が生まれ、いろんな困難を乗り越えて、大勢の方々に温かく見守られながら無事にゴールできました。私は飛び上がって叫びたい、そんな気持ちで喜びました。その道中で地球市民の署名を集めたり、駅前ダンスやフリーハグをしたことを後に息子は、人生でこれ以上ない体験として堂々と発表できるようにになりました。

### ベンジャミン人間性英才学校は

ブレインワークショップ(メンター特別講義、ベンジャミンリーダーシップ教育、地球市民教育など)、ベンジャミンプロジェクト(世界に役立つ独自のテーマを決めてメンターのサポートを受けながら1年間生徒が自ら進行していくプロジェクト)、メンタリング(様々な分野のメンターから個別にアドバイスをもらう)などのプログラムで、自己啓発、自己省察、進路体験活動などをしながら、自分で人生を作っていく力を養います。

5  
Nothing



校舎 教科授業 テスト 成績表 宿題